



[人口]3,008人(2024.10現在)
[面積]106.43km²

島根県

川本町

KAWAMOTO TOWN

小さな町の大きな挑戦

POINT.1 企業誘致、 ほぼ“未開の地”

企業誘致がまだ進んでいないからこそ、御社のニーズに合わせた柔軟な支援と緊密な連携により、地域のリーディング企業としての発展が目指せる場所です。



POINT.2 新たな人流、 継続的な“人材確保”

川本町の歴史や特性を活かし、「女子野球で繋がるプロジェクト」が始動し、様々な“挑戦”を続ける若者が本町を拠点に循環して発生する新たな人流「挑戦人口」により、継続的な人材確保を目指します。



POINT.3 従業員の笑顔あふれる “子育て環境”

保育料の全額無料・給食費の全額無料・高校の通学費全額補助・子どもの医療費を高校卒業まで全額無料など、子育てしやすい環境を整備しています。



安心・快適な「かわもと暮らし」

保育料無償化、高校までの医療費無償化、学校給食の無償化、高校の通学費全額補助などの子育て環境の充実や、移住定住の受け皿となる住宅整備、町内唯一の県立高校である県立島根中央高等学校の魅力化などに力を入れています。

現在、国・県と連携して、重要インフラである治水対策・道路整備を強力に推し進め、準公的病院である社会医療法人の新築移転を支援しており、誰もが安心して快適に暮らすことが出来る、次世代に繋がるコンパクトタウンを目指した「まちづくり」を進めています。



地域を愛し、地域で活躍できる若人の育成

県立島根中央高等学校の魅力化プロジェクト



全国約120校の中学校から生徒が集まっており、多様な価値観やモノの見方、他者を認め、お互いを尊重し合う姿勢を自然に身につけることができます。また、ほとんどの生徒は、部活動に所属しており、全国大会出場等の実績だけでなく、社会に出ても通用するような実践的なキャリア発達を促しています。

一般社団法人asolab(あそラボ)での活動



「やってみたい」と思ったことを中高生が主体となって幅広い世代の地域住民と関わりながら実施することで、自分らしく社会を担える人づくりを進めています。

地域の強みや進出メリット

山陰地方初の女子硬式野球クラブチーム「島根フィルティーズ」を創設し、女性活躍だけでなく、誰もが“挑戦”を続けられる環境の整備を行っています。特にサテライトオフィスの機能を持たせた「かわもとテレワークスペースOTO-LaVo」の設置や川本町独自の支援制度があります。

川本町 企業立地促進条例

増加固定資本額の1/10助成
(上限7,000万円)

川本町中小企業 設備投資促進補助金

事業費の1/2補助
(上限500万円)



島根フィルティーズ



かわもとテレワークスペースOTO-LaVo

相談窓口 川本町産業振興課

(島根県) 邑智郡川本町大字川本271-3 [Tel]0855-72-0636 [Fax]0855-72-1136 [Mail]syoukou@town.shimane-kawamoto.lg.jp

